

科目名	農業と情報	単位数	2単位	学科・学年	畜産総合科 2年																																									
使用教科書	農業情報処理	実教出版	副教材等	検定模擬問題集 日本情報処理検定協会																																										
学習目標	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する能力を養う。</p> <p>(3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会的貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>																																													
学習評価	<p>○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①知識・技能</td> <td colspan="4">課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の情報などを踏まえて発言・伝達できる能力を身につける。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td> <td colspan="4">情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を理解する。</td> </tr> <tr> <td>③主体的に学習に取り組む態度</td> <td colspan="4">社会生活の中で情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルに対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画する態度を身につける。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>自己評価の実施</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>授業毎に提出</td> </tr> <tr> <td>確認テスト</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>学期に1回実施</td> </tr> <tr> <td>検定</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td>希望者対象</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間ごとにHDに保存し、それを評価します。 ・学期に1～2回確認テストを行います。 					①知識・技能	課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の情報などを踏まえて発言・伝達できる能力を身につける。				②思考・判断・表現	情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を理解する。				③主体的に学習に取り組む態度	社会生活の中で情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルに対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画する態度を身につける。					評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	◎	—	○	自己評価の実施	FD	◎	○	◎	授業毎に提出	確認テスト	○	◎	○	学期に1回実施	検定	◎	—	◎	希望者対象
①知識・技能	課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の情報などを踏まえて発言・伝達できる能力を身につける。																																													
②思考・判断・表現	情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を理解する。																																													
③主体的に学習に取り組む態度	社会生活の中で情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルに対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画する態度を身につける。																																													
	評価方法\観点	①	②	③																																										
	学習状況観察	◎	—	○	自己評価の実施																																									
	FD	◎	○	◎	授業毎に提出																																									
	確認テスト	○	◎	○	学期に1回実施																																									
	検定	◎	—	◎	希望者対象																																									
履修上の注意	<p>○授業は教室でGoogle chrome bookを使用、またはパソコン教室で実施する。パソコン教室は、全員が使用するためマナーをしっかりと守ること。</p> <p>○Google chrome bookは生徒自身のアカウントを使用するため、中学時のgoogleアカウントとパスワードは大切に保管しておくようにすること。</p> <p>○分からないところやパソコンの不具合などがあれば、すぐに担当の教員へ連絡すること。</p> <p>○教員の許可なく、Google chrome bookやパソコン室のパソコンの設定を変えないこと。</p> <p>○使用するGoogle chrome bookやパソコン室の座席などは、あらかじめ決めておきますので、教員の許可なく使用または移動しないこと。</p>																																													

学期	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動(評価方法)
1	<p>第1章 私たちの生活と農業の情報化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル <p>第3章 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>第3節 データの集計と視覚化</p> <p>表計算ソフトの利用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 表計算ソフトの概要 2 表作成と表計算 3 グラフの作成 4 表計算ソフトの応用 検定内容に即した内容 	4 20	<p>○情報社会の光の面と陰の面を理解することで、利用する人間のマナーやモラルについて学習する。</p> <p>○表計算ソフトは「スプレッドシート」または「エクセル」を使用し、基本的な入力方法を身に付け、簡単な数式、関数の使い方からグラフまでの操作を身に付け、検定を視野に入れた内容も学習する。</p>	<p>○情報を簡単に送受できる社会において、日頃どのような考え方や態度を身に付けなければならないかをプリントや身近な事柄から理解する。</p> <p>○中学時の復習を兼ねて振り返りを行い、改めて理解する。課題プリントの内容がしっかりとできるような知識と技術を身に付ける。</p> <p>※学習状況観察 ※1学期期末考査</p>
2	<p>第3章 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>第6節 プレゼンテーション</p> <p>プレゼンテーションの利用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションソフトの概要 2 プレゼンテーションソフトの基本操作 3 プレゼンテーションソフトの応用 <p>第3節 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>第4節 データベースシステムとオープンデータ</p> <p>データベースソフトウェアの利用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データベースソフトウェアの概要 2 オープンデータの利用 	13 18	<p>○プレゼンテーションは「スライド」または「パワーポイント」を使用し、基本的な操作方法を身近な話題やできごとを題材にしたプレゼンテーションを作成することで身に付ける。</p> <p>○ソフトは「AIテキストマイニング」を使用。データの分析する前に必要取り組む態度を養う。なるデータの形式に関する知識やデータの収集方法・種類について理解する。数学的なデータの分析の基礎を理解し、ソフトウェアなどを使用してデータ処理や分析を身に付ける。</p>	<p>○作成したプレゼンテーションは授業の節目にそれぞれ全体の前で発表してもらおう。その中で他人に伝えることの難しさや技術などを学習する。</p> <p>○作成したデータを基にデータの分析方法や得られる結果からどのような問題点、課題点があるか考えさせる。</p> <p>※学習状況観察 ※2学期期末考査</p>
3	<p>プログラミング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アルゴリズム 2 プログラミング言語 3 プログラミング方法 	15	<p>○ソフトは「colaboratory」pythonを使用。問題の解決法をアルゴリズムを用いて表現する方法を身に付ける。プログラミング言語の実行のしくみを身に付ける。簡単なプログラミングの作成を通してアルゴリズムや言語を身に付ける。処理手順の自動実行の有用性を身に付ける。</p>	<p>○表計算ソフトウェアでの簡単なプログラムの作成を通してアルゴリズムの基本を理解させる。フィボッチ数列のアルゴリズムとプログラムの作成を通して「適切なアルゴリズムの必要性について考えさせる</p> <p>※学習状況観察 ※2学期期末考査</p>
		70		